

「ネット炎上の実像と課題」

日時：2017年3月3日（金）15:30~17:00

会場：同志社大学 東京オフィス セミナー室

<http://tokyo-office.doshisha.ac.jp/access/map.html>

報告者：田中 辰雄（慶應義塾大学）

司会：上原 伸元（東京国際大学）

企画の意図：

昨年末の米大統領選におけるソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）による情報発信のインパクトに代表されるように、現代社会において言論空間としてのインターネットの存在感は大きい。しかし、その一方で情報発信とその内容について重い責任と義務が課されているマス・メディアと異なり、誰もが送り手として自由な情報発信が可能なインターネットでは、必ずしも慎重で抑制的な情報発信と情報流通が行われているわけではない。時には感情のおもむくままに、攻撃的な姿勢の情報発信が爆発的に拡大する“炎上”と呼ばれる現象がしばしば発生するのは周知のとおりである。

本研究会の報告者である田中氏は、計量経済学の立場からネット炎上に関する研究を行っており、昨年4月には共著、田中辰雄・山口真一（2016）『ネット炎上の研究』勁草書房（<http://www.keisoshobo.co.jp/book/b220024.html>）を出版している。同書ではネット炎上の主要参加者を経済力のある中流層の既婚男性と指摘し、低所得層の独身者を中心と見なしていた従来の一般的な印象とは異なる見解を示して注目を集め、新聞各紙の関連記事の中でもしばしば引用されている。

本研究会では、前著で示された研究結果の詳細に加え、その後の継続研究として発表されたネット炎上と鬱病等の精神疾患との関係性や、同氏が提唱しているサロン型 SNS（受信と発信の分離）構想の詳細について報告して頂く。また、今回の米大統領選についても研究成果からコメント可能な点については報告して頂く予定である。

*事前の申し込みは必要ございませんが、参加ご予約の方はあらかじめご一報いただければ幸いです（研究会の日時や場所の変更がない限り、こちらからは特に返信等は致しませんのでご了承ください）。

【連絡先】 メディア倫理法制研究部会
上原 伸元（東京国際大学）
E-mail : nuehara@tiu.ac.jp